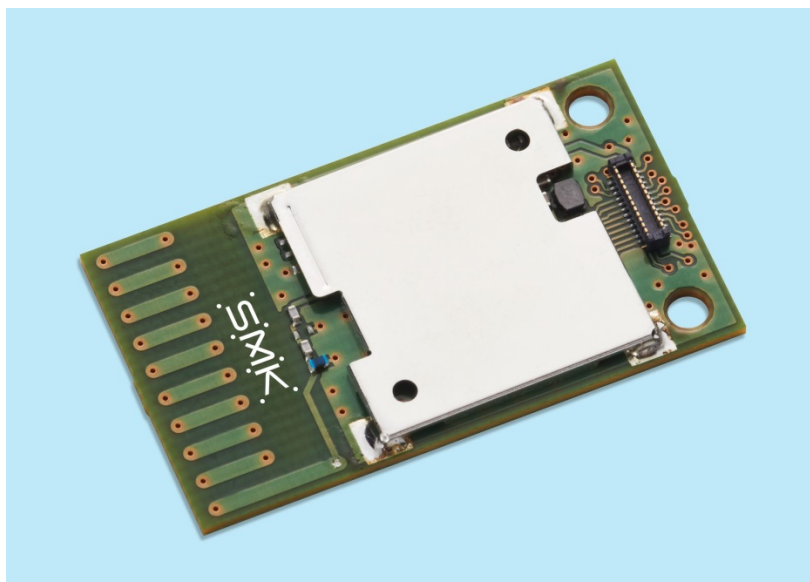


＜新製品情報＞

Sub-GHz RF モジュール「WF924 シリーズ」を開発 =汎用性の高い UART インタフェース制御に対応=



当社はこのほど、UART インタフェースで制御可能な「Sub-GHz RF モジュール WF924 シリーズ」を開発し、受注活動を開始しました。汎用性の高い UART インタフェースによる制御に対応したことにより、主に温度センサー向けだった当社従来シリーズ「WF921」と比較して用途が拡大しました。

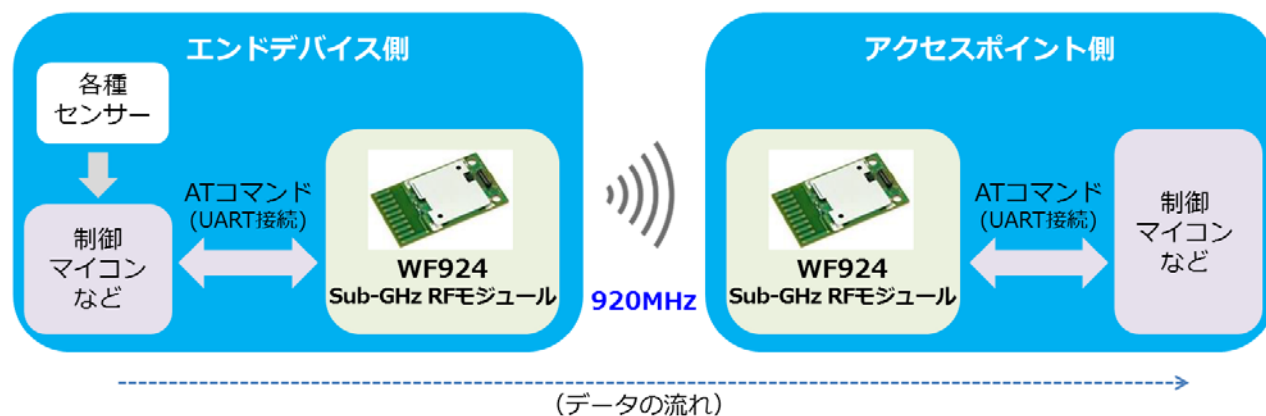
近年、エネルギー監視やセキュリティ、モノの管理など、様々な分野でセンサーネットワークを構築する動きが活発化しています。本製品で採用した 920MHz 帯無線方式は、通信距離の長さを特長としており、センサーネットワークを構築する有力な無線方式として注目されています。

本製品は、UART インタフェースで制御可能な SMK オリジナルのファームウェアを搭載しており、エンドデバイスモードとアクセスポイントモードの切替えが可能です。スター型 1 対 N 通信、および長距離通信が可能という特長も備えています。また、電池駆動を想定した低消費電力設計です。

日本電波法に基づく工事設計認証を取得済みのため、機器の開発期間短縮に貢献します。当社は今後も IoT 機器に適した通信モジュールの開発を進めていきます。

*UART：コンピュータと周辺機器などの通信を制御するための集積回路の一つ。
シリアル通信用のインタフェースとして用いられることが多い。

<構成例>



【使用用途】

産業機器、事務機器、各種センサーネットワーク制御等

発表日	2018年3月15日
リリース番号	1098RD
製品名	Sub-GHz RF モジュール「WF924 シリーズ」
特長詳細	<ol style="list-style-type: none"> 1) エンドデバイスモード、アクセスポイントモードの機能を搭載しており、動作モードを切替えて使用可能。 2) スター型 1 対 N 通信、長距離通信が可能。 3) 電池駆動に最適な低消費電力設計。 4) 内蔵アンテナタイプと外付けアンテナタイプを用意。外付けアンテナタイプは 30 種以上のアンテナと組合せて使用可能。 5) 日本電波法に基づく工事設計認証を取得済み。



主な仕様	周波数	920.8 ~ 921.6MHz (200kHz ステップ/5ch)
	準拠規格	ARIB STD-T108、IEEE802.15.4
	外形寸法	35mm (W) × 20mm (D) × 2mm (H) *コネクタ部含まず
	インタフェース	UART
	送信出力	+13dBm 以下
	伝送速度	625bps
	変調方式	FSK (DSSS+FEC)
	電源電圧	DC2.2 ~ 3.6V
	消費電流 (VDD=3.3V)	送信時 : 32mA (typ.)、受信時 : 8mA
	スタンバイ電流	1μA 以下
	ペイロード長	64bytes 以下
	アンテナタイプ	内蔵 (プリントアンテナ)、外付け
	動作温度範囲	-20℃ ~ +70℃
	認証	電波法 : 日本
受注活動開始時期	2018 年 3 月	
量産開始時期	2018 年 10 月	
製品レパートリー	通信モジュール 製品情報ページ	
お問い合わせ	お問い合わせはこちら	